

平成 16年 3月期

第 1 四半期業績の概況 (連結)

平成 15年 7月 31日

上場会社名 杏林製薬株式会社 (コード番号: 4560 東証第1部)

(URL <http://www.kyorin-pharm.co.jp/>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 荻原 郁夫

責任者役職・氏名 取締役経理部長 宮下 征佑 (TEL (03) 3293 - 3420)

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無

2. 平成 16年 3月期第 1 四半期業績の概況 (平成 15年 4月 1日 ~ 平成 15年 6月 30日)

(1) 売上高 (百万円未満切捨て)

	百万円
16年3月期第1四半期	14,869
(参考) 15年3月期	68,618

(注) 四半期業績の情報開示は当第1四半期より実施しておりますので、前年第1四半期の実績は記載していません。また、前年第1四半期との比較も行っておりません。

[売上高に関する補足説明]

当第1四半期におけるわが国経済は、企業収益の回復や株式市況の持ち直しなど一部に回復の兆しは見られたものの、依然としてデフレバイラルとも称される厳しい経済環境下にあります。医薬品業界におきましても、逼迫する医療保険財政を背景に、昨年10月の老人保健法の改正や本年4月の健康保険法改正による患者負担増など次々と打ち出される医療費・薬剤費の抑制策により、国内市場拡大は望めない状況です。

このような中、当社は医薬品事業におきまして、主力製品のムコダイン、キプレス、ペンタサなどを中心に売上拡大に努めるとともに、ガチフロについては安全性情報の徹底を図りました。この結果、第1四半期は売上高148億69百万円と、概ね順調な業績で推移いたしました。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当事項はありません。

(参考1) 四半期個別業績の概況 (平成 15年 4月 1日 ~ 平成 15年 6月 30日)

	百万円
16年3月期第1四半期	14,521
(参考) 15年3月期	67,293

(注) 四半期業績の情報開示は当第1四半期より実施しておりますので、前年第1四半期の実績は記載していません。また、前年第1四半期との比較も行っておりません。

3. 平成 16年 3月期の連結業績予想 (平成 15年 4月 1日 ~ 平成 16年 3月 31日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり 予想当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	円	銭
中間期	31,100	2,700	1,500		
通期	68,600	11,300	6,300	72	59

[業績予想に関する定性的情報等]

第1四半期は概ね順調な業績で推移しており、中間期および通期の業績予想につきましては現段階で変更ございません。

(参考2) 平成 16年 3月期の個別業績予想 (平成 15年 4月 1日 ~ 平成 16年 3月 31日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり 予想当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	円	銭
中間期	30,400	2,600	1,400		
通期	67,300	10,900	5,900	67	98

上記の予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上